

赤い羽根共同募金始まる! 10月1日~12月31日



ハートがつなぐ地域の輪

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地区の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

「たすけあい」の心

日本で共同募金運動が始まって60年以上が過ぎました。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあい」の心に支えられ、人々の幸せを願って歩んできました。

平成21年度の募金実績額は、1,283万6,845円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、各福祉関係団体を対象に図書カードなどの資材を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金



募金箱



社協だより

130号

平成22年10月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
市民活動交流館
(メイトム宗像)2階
TEL 0940-37-1300

など、いろいろな方法でお願いしています。平成21年度、みなさんのご協力で1,283万6,845円の募金が集まりました。ありがとうございます。

平成22年度募金の使いみち

平成21年度に宗像市で集められた募金は、すべて福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、平成22年度に、社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。平成21年度に集まった募金は「平成22年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。

共同募金は計画募金

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のために使いみちの計画を立てます。この計画に必要な額が「目標額」になります。

平成22年度の募金目標額

本年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1,283万6,845円です。この目標額を達成すること、平成22年度の使いみち(表1)のような事業や活動を平成23年度も安定して、継続することができま

一世帯700円の目安額

市全体の「目標額」は1,283万6,845円ですが、「一世帯ではどれだけの金額を協力したら

いいのかわからない」ということが分かっていくため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることにしています。

この目安額を示すことが強制と受け取られがちですが、決してそうではありません。



「募金してくれてありがとう」お礼に赤い羽根を受け取る女の子

多くの人に支えられていく共同募金

宗像市の共同募金実績額では、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組

共同募金の配分活用

赤い羽根共同募金による助成に感謝
「東郷美」推進の「しくみ」づくりを



東郷地区福祉会会長 沖 宗利
今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日より開始され、12月末日までの3ヶ月間にわたり、自治会をはじめ、各協力機関、団体のご尽力により、約千三百万円の募金が集まり、その一部が福祉会の補助金として配分され、それぞれの事業に活用させていただきます。常々より深く感謝いたしているところであります。

さて、東郷地区は平成2年に誕生し20年が経過しました。更に平成10年に市行政の発案により各地区にコミュニティセンターが立ち上がり、福祉事業の強化が図られ、現在は他の地区にみられない効果を期しております。

しかし、それぞれの機関でもいえることは、指導者の入れ替わりにより持続的な事業や仕組みに支障を生じたり、中断したり、遂行にあたっての欠如が見受けられることがあります。これらの欠如を防ぐために、平成22年に、みんながわかりやすく、参加しやすく、続けやすい「しくみ」が必要であり、5カ年の中期的な計画案を作成しました。地域の人々の生活実態や意向に沿った「東郷美」という名称を掲げ、指導者が変わっても、仕様が一部変わっても、

平成22年度 (表1) 共同募金の使いみち

平成21年度の募金実績額は、1,283万6,845円でした。この募金は平成22年度、下記の事業に活用されています。ありがとうございました。

項目	金額	項目	金額
高齢者の福祉 ☆在宅介護者の会への支援 ☆小地域ネットワーク活動助成金	450,000円	福祉会活動の支援 ☆地域住民の自主的な福祉活動に	3,002,000円
児童・青少年の福祉 ☆福祉読本「ともに生きる」に活用 ☆福祉教育推進校(園)指定事業など ☆地域福祉文庫連絡協議会活動の支援	1,270,000円	ボランティア活動 ☆福祉ボランティア活動連絡協議会への支援 ☆大島地区ボランティア団体助成金など	567,000円
障がい児・者の福祉 ☆身体障害者福祉協会への支援 ☆手話講習会助成金 ☆声の広報配布事業 ☆おもちゃ図書館運営支援など	1,636,000円	情報提供・啓発活動 ☆社協だよりの発行 ☆ホームページの運営	891,400円
母子・寡婦福祉 ☆母子・寡婦福祉会への支援	295,000円	共同募金の事務費 ☆チラシの作成、資材の購入など	777,950円
県内の福祉施設や災害準備金 ☆県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体に ☆災害準備金などに	3,947,495円		

方向性を堅持し、維持、継承するための効率的、効果的な点に着目した計画です。

共同募金からの支援金がかかせない財源です。みなさま方の深いご理解で協力を切望いたすところでもあります。最後にみなさま及びご家族の方々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ挨拶いたします。

福祉ボランティア活動を支える共同募金

宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会 会長

石津 朝子



宗像市福祉ボランティア活動連絡会、通称「宗像市ボラ連」は、昭和60年に発足、現在16団体が所属しています。主に障がいのある人や高齢者などを対象とした福祉分野のボランティア活動を柱に、「誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり」を目指しています。

私たちの活動は、この赤い羽根共同募金の配分によつて支えられています。毎年みなさまの募金により、ボランティアを必要とする人へ、円滑にボランティアの支援をすることが出来ます。ここに、みなさまに深く感謝し、お礼申し上げます。

ボランティアをする側受ける側の、心身の負担を軽減し、ゆとりをもってボランティア活動ができるよう、ボラ連会員の基礎講習会、市や県社協による研修や講演会などの受講、他地区との研修交流会などを実施しています。また、将来を担う子どもたちへの福祉活動への指導者派遣、宗像市社協主催による福祉教育セミナーや養成講座などへの講師派遣、協力を行っています。

まちなかには、ほんの少しのやさしさや勇気のできるボランティア活動がたくさんあります。困っている人への「ことばかけ、手助け」が日常的に行われるまちになるよう、心からのぞんでいます。



市内福祉施設でのイベントの手伝いをしています

社会福祉協議会 会長の就任あいさつ

会長 福本義雄



社会福祉協議会では、「福祉の里づくり」を推進するプランを掲げ、地域福祉の向上に取り組んでいます。

日本の社会は、地域の人々との助け合いで成り立っていたという歴史があります。しかし、近年は核家族化が進み、ひとり暮らしや高齢者だけの所帯が増えています。また、個人情報やプライバシー保護の観点から、他人にかかわることを避けるという風潮も見受けられ、近隣の人との人間関係が希薄になってきているようです。

このような中で、「手助けが必要な方へ、必要な支援がどのようにしたら届けられるか」という課題を模索しています。そのほかにも介護や発達支援、障がい者支援、ボランティア活動支援、福祉教育の推進などいろいろな事業にも取り組んでいます。

社会福祉協議会では、いろいろな福祉団体と市民の代表で構成されています。今後とも、みなさんのご協力とご支援、ご理解をお願いいたします。

市民とともに創造する

福祉の里づくりプラン

第3次地域福祉活動計画スタート

第3次地域福祉活動計画（第3次計画）が、社会福祉協議会の評議員会と理事会で7月に承認され、同計画が8月1日から実行されています。この計画の概要を「社協だより」の本号以降で紹介いたします。

地域福祉活動計画とは

社会福祉協議会が、住民や行政、地域で福祉活動をしたい人や、社会福祉を目的とする事業者などと相互に協力して策定する民間の活動・行動計画です。

この計画の内容は、福祉のいろいろな問題が見えてくる地域社会で、福祉課題に取り組む住民や民間団体の活動と、そのために必要な資源の造成・配分活動を、組織として体系化した計画です。一般的に5年を計画期間としています。

社会福祉協議会の基本的な活動方針

社会福祉協議会では、第3次計画を策定するにあたり、平成21年度に「地域福祉の推進に関する市

民の意識調査」を実施しました。その結果、少子高齢化による地域別の課題、地域福祉を推進する上での福祉当事者団体や地域福祉推進団体などが抱える課題や、社会福祉協議会の事業推進上の課題が見えてきました。これらの「新しい課題」について、社会福祉協議会が担うべき役割を考え、行動に着手する時期が来ています。

また、平成17年3月に策定した第2次地域福祉活動計画（第2次計画）策定後に、国や全国社会福祉協議会、宗像市の地域福祉の動向と、第2次計画で実施してきた事業を注意深く検証しました。

その結果、第3次計画の基本的な活動方針を次のように決めました。

- 1 住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- 2 住民自治活動としての地域福祉の推進
- 3 生涯学習としての福祉教育の推進
- 4 行政と地域福祉団体など、協働者としての社会福祉協議会の確立
- 5 利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- 6 法人経営体制の強化

*基本方針各号の内容は、次号以降の「社協だより」で順次紹介いたします

*「地域福祉の推進に関する市民の意識調査報告書」は、社会福祉協議会ホームページ（http://syakyo.munakata.com）で公開中です

第3次計画の推進へのご理解と協力をお願いします

第2次計画を策定して5年が経過しました。その間、社会福祉協議会では、第2次計画に基づき「住民主体・住民参画による社会福祉協議会

ほんのひととき、介護の手を休めてリフレッシュしませんか

～在宅介護者1泊リフレッシュセミナー～

市内在住の在宅で介護をしている人を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。

このセミナーは、在宅介護者のリフレッシュと学習会（個別相談）を兼ねて、1泊で実施します。介護や介護保険などに詳しい社会福祉協議会職員や市在宅介護者の会「ひまわり」の役員も同行します。

あなたも、ほんのひととき介護の手を休めて、介護や介護保険に関する学習や相談を通して、同じ介護者との楽しいひとときを一緒に過ごしてみませんか。

- 主催 市、社会福祉協議会
- 実施期日 10月25日(月)～同26日(火)
- 対象 市内在住の在宅で介護をしている人
- 行先 大分県別府市、由布市方面
- 宿泊地 別府市内（予定）
- 参加費 1人5,000円
- 募集人員 35人
- 申込方法 10月15日(金)までに社会福祉協議会☎(37)1300へ電話で申し込んでください



活動推進」「住民自治活動としての地域福祉の推進」「共生のための福祉教育の推進」「協働の場づくりのための連絡調整機能の強化」「利用者本位の福祉サービス供給体制の強化」「行政と地域福祉推進団体などのパートナーとしての社会福祉協議会の確立」「法人経営体制の強化」を、宗像市や福祉当事者団体、地域福祉推進団体などの構成員を含む多くの市民のご理解とご協力を得て推進してきました。

その結果、福祉社会活動や各地域での小地域ネットワーク活動、いきいきふれあいサロン活動の充実や、これらの活動を支える地域ボランティアの

拡大を図ることができました。さらに、全国的にも希少な「福祉教育推進計画」の策定とその推進、宗像市や福祉当事者団体、地域福祉推進団体などの連携強化、離島での介護保険事業・介護予防事業の充実など、県内でも注目される社会福祉協議会として、一定の成果をあげることができたと考えています。

しかし、この5年間で地域福祉を取り巻く環境が大きく様変わりしました。社会福祉協議会も、本当の意味で宗像市の地域福祉を推進・創造する社会の一員として、また、社会福祉法に定められた「地域福祉の推進役」としての役割・力量を充実



ボランティアセンター通信

※土日曜日祝日を除く午前8時30分～午後5時 ☎074100 フォックス374101

みんなが安心して暮らせる「宗像市」を築こう！

「ジュニアボランティアスクール」

今回のスクールは、福祉と環境分野に関する体験学習や交流学習を中心に開催し、小学2年生から中学2年生の15人が参加しました。

初めて会う仲間と顔を合わせた初日。みんなが楽しんだコミュニケーションゲームで緊張もほぐれ、ボランティアの基本と地域ボランティア活動の状況を学びました。また、市で取り組んでいる「リサイクル」活動の講話を聴きました。家庭から出る燃やすごみは年々減少していますが、生ごみ水切りを実践すれば、年間2000万円以上の経費を節約できるそうです。



ペットボトルで水切り器具作成中

学習後、ペットボトルを利用して水切り器具を作りました。「ひとしぼりで生ごみ減量」を合い言葉に家庭でできるエコ

活動を見つけました。翌日は、水切り器具と手紙を土産に、自由ヶ丘地区福祉会や高齢者のみなさんと一緒に「いきいきふれあいサロン」で世代間交流を楽しみました。手品や合唱などレクリエーションは大盛況。工夫を凝らし、地域の高齢者を温かい目で見守るボランティアの姿を目の当たりにしました。

最終日は、福岡市の「臨海3Rステーション」で、ごみ燃焼工場の見学と紙すきを体験しました。古紙がしおりに大変身。再資源化の過程を体感しました。



コインがなかなかつかめません(高齢者疑似体験中)

今回の学習を振り返ると、みんなが暮らしやすい「宗像市」に向けて、ボランティア団体や行政、民間団体がそれぞれ協力していることがよく分かりました。また、みんなで「自分たちでできるボランティア活動」を考えました。「高齢の人、困っている人を見たら手伝う」「資源の再利用を心がけ、分別してごみを捨てる」など意欲的な行動が大きな目標を達成すると信じ、日々実行しようと呼びかけました。

ボランティア相談日とボランティア体験の日

ボランティア活動を楽しめる「やってみよう! ボランティア」も毎月1回開催中です。

「ボランティアって、どんなものなの?」などの疑問をボランティアアドバイザーに話してみませんか?

●場所 同センター(11月10日のみ大島地区ふれ愛センター)
●申し込み 不要

【アドバイザー相談日】 13:00~16:00

相談日	内容	アドバイザー
10/6	点字点訳	石津 朝子
13	読み聞かせ	野田 美子
20	朗読	西田 和子
27	手話	黒田千穂子
11/10	朗読	西田 和子
17	全般	藤原 浩美
24	点字点訳	石津 朝子
12/1	手話	黒田千穂子
8	朗読	西田 和子
15	全般	藤原 浩美
22	読み聞かせ	野田 美子

【やってみよう! ボランティア体験】

13:30~15:00

10/6	点字点訳体験
11/10	朗読体験in大島地区
12/15	世代間コミュニケーション

保健福祉会館

「ゆうゆうぷらざ」の歩き方

ゆうゆうぷらざには

広々とした大浴場と男女日替わりの流水浴槽、ラニングマシンや筋力を鍛える運動器具が設置された機能訓練室、休憩室、和室の大広間、各種会議室、フリースペース(ラウンジ)などがあります。体育館のような機能訓練室では、ダンスの練習なども盛んです。2階の調理実習室では、料理教室(48人)ができます。

また、ロビーでは、絵画などの美術作品をフロアいっぱい展示していますので、ぜひ鑑賞に来てください。

- 料金
 - ▽中学生以上 200円
 - ▽小学生 100円
 - ▽小学生未満 無料
 - ▽市外 300円
 - *せつけん、シャンプー、タオルは置いていただきますので持参してください
- 運動施設
 - 利用時間 午前9時～午後10時
 - 料金
 - ▽市内 100円
 - ▽市外 150円
 - 問い合わせ先 ☎(62) 2662

利用の仕方(例)

▽コース①
入浴↓休憩室(飲食可能)↓ギャラリー鑑賞

▽コース②
運動器具で汗を流す↓入浴↓ギャラリー鑑賞
↓休憩室(飲食可能)
▽コース③
ギャラリー鑑賞↓部屋を借りて会議や楽器の練習など↓運動で汗を流す↓入浴やシャワー↓休憩室(飲食可能)

●市内在住の人のみ
発売中
入浴回数券 (12枚2,000円)
健康器具回数券 (12枚1,000円)
詳しくは、ゆうゆうぷらざへ ☎62(2662)



ルームランナー2台に筋トレ器具もいろいろあります。湖と緑を眺めながらどうぞ



利用しやすい大浴場ですよ



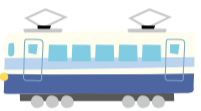
障害者生活支援センター

土日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
☎(34)24111 ファックス(34)24222
メールアドレス saw09180@nky.odn.ne.jp

電車に乗って出かけよう

同センターでは、電車や地下鉄を利用した外出行事の参加者を募集します。

目的は、「NHK福岡ハートパーク」が開催される福岡市の大濠公園



周辺です。「NHK福岡ハートパーク」では、障がいのある人たちが描いた絵を旗にして、大濠公園の街路灯に展示しています。

また、NHK福岡放送局では、障がいのある人たちが書いた詩に、著名人やアーティストが絵などを添えた「ハート展」も同時開催されています。

今回は、電車の時刻や乗換方法を自分たちで調べると、スケジュールもみんなで話し合っ

ていきます。ピアサポーター(障がいのある相談員)やボラ

ンティアと一緒に計画を立て、楽しい1日になります。詳しい内容や行程は、同センターに問い合わせください。

日時 10月31日(日) 午前9時～午後3時
(予定)
*荒天時は11月7日(日)に延期

事前打ち合わせ日時 10月24日(日) 午前10時30分～正午

*希望者のみ
●対象 障がいのある人
●定員 先着20人
●参加費 交通費、昼食代など実費負担
●申込締切日 10月15日(金)
●問い合わせ・申込先 同センター

☎(34) 24111
ファックス(34) 24222

寄付

ありがとうございます
ありがとうございます

- 【香典返し】(敬称略)
 - ・(故)吉元善清(陵厳寺)
 - ・(故)新海毅彦(城ヶ谷)
 - ・(故)井上トキ(上八)
 - ・(故)荻野アサカ(ひかりヶ丘)
 - ・(故)織田賢市(自由ヶ丘)
 - ・江頭金之介(日の里)
 - ・占部利長(鐘崎)
- ・(故)大和弘(三郎丸)
- ・中村忠彦(鐘崎)
- ・(故)八谷春子(自由ヶ丘)
- ・(故)花田義明(牟田尻)
- ・(故)中村昭信(光岡)
- ・(故)中村和代(光岡)
- ・(故)河野幸人(大島)

- ・笠原勇(自由ヶ丘)
- ・(故)今西マサ子(三郎丸)
- ・(故)中原ヒデ子(徳重)
- ・(故)伊藤隆夫(新宮町)
- ・(故)吉武司富(田熊)
- ・(故)大和弘(三郎丸)
- ・中村忠彦(鐘崎)
- ・(故)八谷春子(自由ヶ丘)
- ・(故)花田義明(牟田尻)
- ・(故)中村昭信(光岡)
- ・(故)中村和代(光岡)
- ・(故)河野幸人(大島)
- ・福岡ボクシングジム
- ・会長 越本隆志
- ・目原タカコ(大島)

社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 市民活動交流館215号 宗像市
宗像市神湊118番地4 ゆうゆうぷらざ内
大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内
ホームページアドレス http://syakyo.munakata.com/
メールアドレス info@syakyo.munakata.com